

第92期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

(証券コード：7721)

ごあいさつ

代表取締役
社長執行役員

安藤 毅

投資家の皆様方に於かれましては、益々ご清祥のことと拝察申し上げます。

上期における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う原油・原材料価格の高騰、半導体をはじめとする部品供給不足の長期化等を背景としたインフレ圧力が強まり、各国の金融引き締めが加速したことから、景気回復への影響が懸念される厳しい状況が継続しました。

我が国経済におきましても、従来からの半導体等の部品供給不足に加え、日米金利差の拡大を背景とした急激な円安進行等、先行き不透明な状況が継続しました。

このような経営環境の下、当社グループの上期の売上高につきましては、前年同期に比べ1.2%増収の、185.9億円となりました。この理由は、その他の事業に含まれる鉄道機器事業が好調に推移したこと、及び船舶港湾機器事業における円安効果等により、増収となったことによります。一方で、損益につきましては、前年同期に比べ、原材料価格の高騰及び製品ミックスの変化等により原価率が上昇したことに加え、販管費も増加したことから営業損益は0.3億円の営業利益から6.2億円の営業損失、経常損益は2.4億円の経常利益から3.2億円の経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は2.3億円の四半期純利益から2.3億円の四半期純損失となりました。

上期に投入しました新商品につきましては、流体機器事業において官需市場及び民需市場向け戦略製品として、不純物を含んだ下水や産業排水の流量を高精度に計測する超音波管渠流量計UVH-3000を市場投入しました。下水処理場や工場での正確な流量管理に欠かせない製品であり、今後販売促進に注力してまいります。

下期は、引き続きロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う原油・原材料価格の高騰、半導体をはじめとする部品供給不足の長期化や中国における景気停滞の継続から先行きに不透明感が続くものの、国内の製造業を始めとした設備投資は回復基調を継続し、公共事業は堅調に推移することが見込まれています。このような経営環境の中、通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日時点での業績予想に対し、船舶港湾機器事業での円安効果や、案件の谷間から回復した防衛・通信機器事業、及び機器販売が増えている鉄道機器事業における売上高増加が見込まれ、受注残高も高水準となっている一方、部品の供給不足による来期以降への繰り越し案件が多いことや、油空圧機器事業の中国市場における産業機械の需要停滞の継続が見込まれることから、売上高は7億円（1.5%）下回る447億円を予想しています。

利益については、売上高の減少、想定以上の原油、原材料、及び半導体等の価格高騰の影響を大きく受け、各事業で売価の適正化に取り組んでいるものの、効果を得るのに時間を要することや、高付加価値案件の繰り越し等から、期初予想に対して営業利益は8.1億円（43.8%）減益の10.4億円、経常利益は6.9億円（32.9%）減益の14.1億円、親会社株主に帰属する当期純利益は5.9億円（38.1%）減益の9.6億円を予想しています。

なお、セグメント別では、船舶港湾機器事業、流体機器事業、その他事業で営業利益を確保する見込みです。

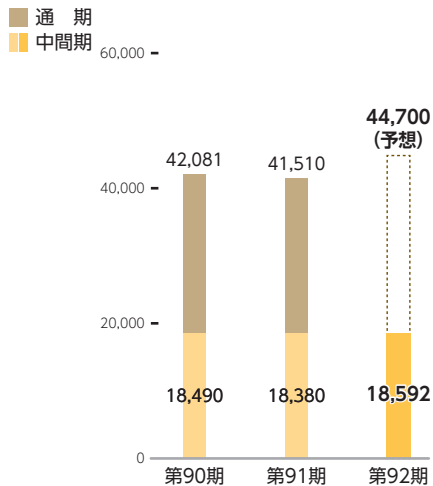
厳しい状況を予想していますが、東京計器ビジョン2030に掲げた通り、成長ドライバーの発掘・絞込・育成を継続し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に努めます。

なお、当期の配当につきましては、期初の予定を維持し、一株あたり普通配当を5円増配し30円を実施する予定です。

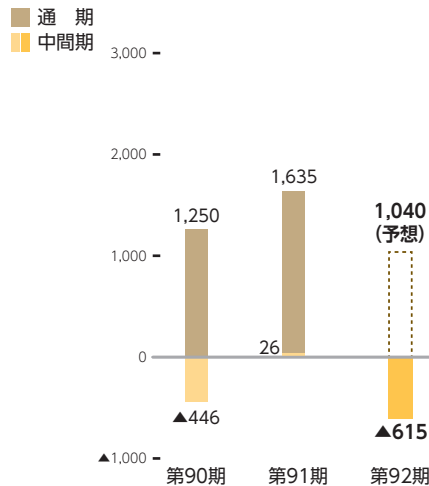
投資家の皆様方に於かれましては、引き続き、より一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

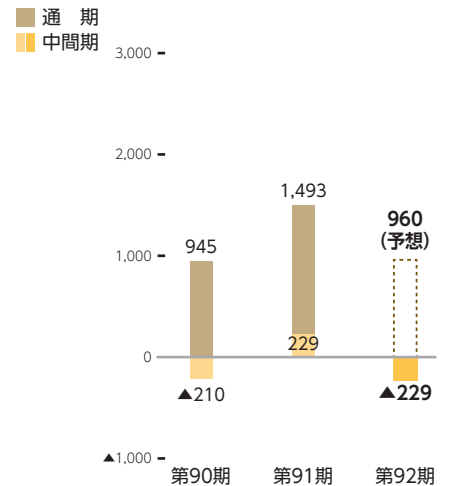
売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)

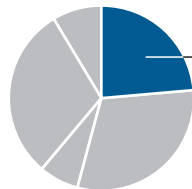


セグメント情報

船舶港湾機器



電子海図情報表示装置



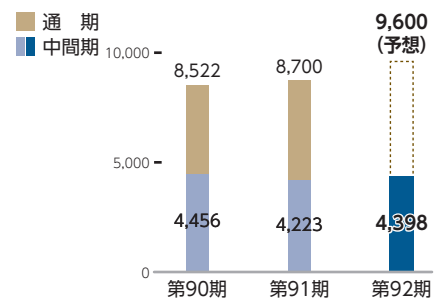
セグメント別売上高比率
23.7%

- 売上高 **4,398**百万円 **4.1%増**
(前年同期比)
- 営業利益 **166**百万円 **6.1%減**
(前年同期比)

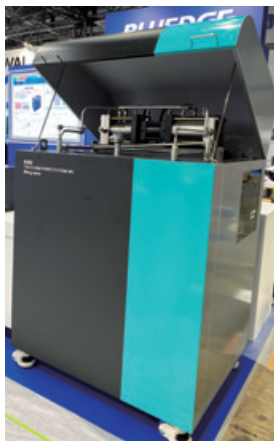
国内外の新造船市場では、主力製品のオートパイロットPR-9000及びジャイロコンパスを中心に、拡販と更なるコストダウンによる利益の確保を推進します。在来船市場では最新型の電子海図情報表示装置 (ECDIS) EC-9000をリリースし、お客様の換装時期に合わせて販売の拡大を進めていきます。中長期的には、船員の高齢化や労働力不足、人為的ミスによる海難事故などの社会課題を解決するための無人運航船プロジェクトや、船舶のさらなる燃費削減と省人化の実現に向けたシステム製品の共同研究開発を進めサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

Marine Systems Business

売上高 (単位: 百万円)



油空圧機器



小型水素圧縮装置
第30回計量計測展に出展



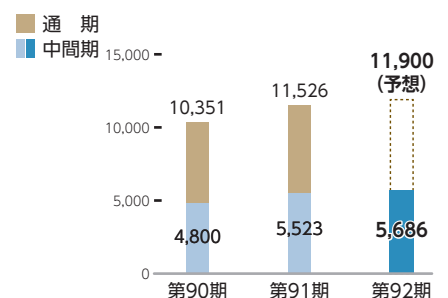
セグメント別売上高比率
30.6%

- 売上高 **5,686**百万円 **3.0%増**
(前年同期比)
- 営業損失 **△140**百万円
前年同期
60百万円の営業損失

建設機械市場では、自動化・省力化のニーズに応える電子製品の開発を進め、国内外への深耕拡販を加速させます。国内外の成形機市場には、高圧対応製品や省エネ性能に優れた回転数制御システムの拡販に注力します。中長期に向けた取り組みでは、EV化が進むなかで、巨大化するダイキャストマシン向けのカートリッジサーボバルブの開発や、水素市場向け水素圧縮装置のバリエーションの拡大を図り、将来の収益の確保を図っています。

Hydraulics and Pneumatics Business

売上高 (単位: 百万円)



流体機器



超音波管渠流量計



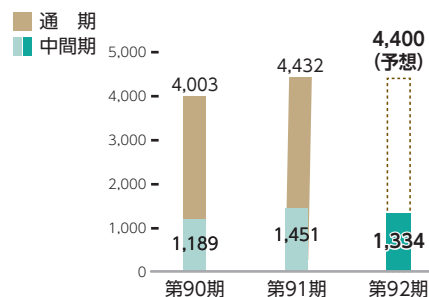
セグメント別売上高比率
7.2%

●売上高
1,334百万円 **8.1%減**
(前年同期比)

●営業損失
△171百万円 前年同期
78百万円の営業損失

Fluid Measurement Equipment Business

売上高 (単位: 百万円)



国内官需市場では、引き続き高精度超音波流量計UFR-300のシリーズ化開発を行い、上下水道、農業用水を中心に売上拡大を推進します。民需市場向けには、新製品として超音波管渠流量計UVH-3000と接岸速度計DL-4000を投入し、拡販を強化・推進します。消火設備市場では、立体駐車場並びに危険物倉庫や食品工場など新たな市場でのシェア拡大に注力します。

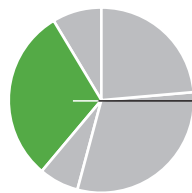
防衛・通信機器



AIS陸上局装置



マイクロ波パワーアンプ



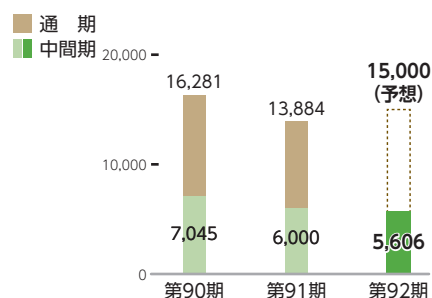
セグメント別売上高比率
30.2%

●売上高
5,606百万円 **6.6%減**
(前年同期比)

●営業損失
△476百万円 前年同期
69百万円の営業利益

Defense and Communications Equipment Business

売上高 (単位: 百万円)



防衛事業では、技術・生産基盤を維持しながら、今後も我が国の平和と安全に寄与する製品開発と製品の維持・整備を行ってまいります。また海上交通機器では、引き続き海外市場向け沿岸監視用高分解能半導体レーダーSeaKuの拡販に努めます。

通信機器事業では、農業の生産性に貢献できる農業機械用自動化関連機器や、当社のコア技術の一つでもあるマイクロ波応用技術により開発した半導体製造装置用ソリッドステートマイクロ波電源の拡販に努めます。更に、当社那須工場内に、新たに衛星組立棟を建設し宇宙事業の拡大に挑戦してまいります。

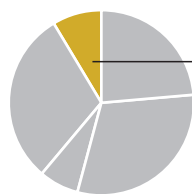
その他



検査機器: 素材検査装置



鉄道機器: 分岐器検査装置



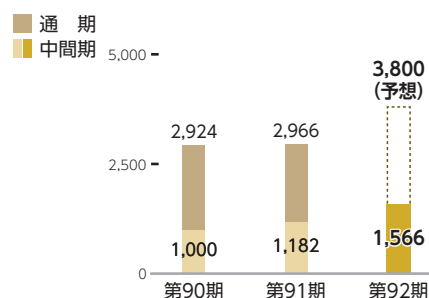
セグメント別売上高比率
8.4%

●売上高
1,566百万円 **32.5%増**
(前年同期比)

●営業利益
57百万円 前年同期
42百万円の営業損失

Others

売上高 (単位: 百万円)



検査機器事業では、引き続き主力製品の印刷品質検査装置P-CAP V6の拡販に注力します。また、国内グラフィック市場向けに新製品の版照合システムの販売開始を計画し、検査ラインナップの拡充を推進してまいります。

鉄道機器事業では、主力製品の超音波レール探傷車を中心に、新型の探傷器や分岐器検査装置SPG-7の国内市場の更新需要の掘り起こしと国内外市場の新規需要開拓を強化します。更に、探傷車に次ぐ次期戦略商品の着実な開発を行い、社会インフラとしての鉄道輸送の安全・安心の実現に注力します。

宇宙事業推進に向けた「衛星組立棟」建設決定

当社は小型SAR衛星向けにマイクロ波応用製品の製造・販売を行ってまいりましたが、今般、株式会社Synspective（本社：東京都江東区、代表取締役CEO:新井元行）と衛星量産に向けたパートナーシップを締結し、那須工場内に新たに衛星組立棟を建設することとなりました。衛星組立棟は、小型衛星の複数機同時生産に十分な広さをもった組立作業エリアを備えており、竣工は2023年5月の予定です。

当社は2021年6月に開示した「東京計器ビジョン2030」にて、宇宙事業を成長ドライバーの一つとして掲げております。マイクロ波応用製品の製造・販売を核としながら、新たに衛星全体の組立を手掛けることで今後さらに事業の拡大を推進し、将来的に衛星活用ビジネスによって安全な社会の実現に貢献することを目指しています。



本トピックスのプレスリリースは当社ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。
www.tokyokeiki.jp/topics/?itemid=593

会社概要（2022年9月30日現在）

- 商 号 東京計器株式会社
- 英 文 社 名 TOKYO KEIKI INC.
- 創 業 明治29(1896)年5月1日
- 設 立 昭和23(1948)年12月21日
- 資 本 金 7,217,597,300円
- 従 業 員 1,324名(連結1,706名)

役員一覧（2022年9月30日現在）

代 表 取 締 役 安 藤 毅
 社 長 執 行 役 員

取 締 役 員 上 野 山 素 雄 コーポレート・コミュニケーション担当
 兼 資 材 担 当 兼 財 務 経 理 部 長

取 締 役 員 鈴 木 由 起 彦 サステナビリティ推進担当兼品質担当
 兼 生 産 担 当 兼 サステナビリティ推進室長

取 締 役 員 鹿 島 孝 弘
 常 勤 監 査 等 委 員

取 締 役 員 柳 川 南 平
 監 査 等 委 員

取 締 役 員 中 村 敬
 監 査 等 委 員

株式の状況（2022年9月30日現在）

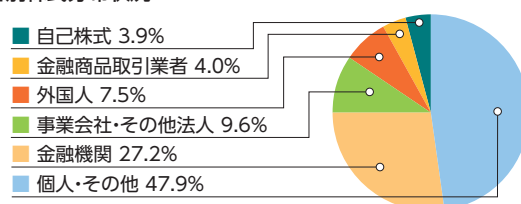
- 発行可能株式総数 50,000,000 株
- 発行済株式総数 17,076,439 株
- 株主数 10,722 名

大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,267	7.72
東京計器協会の会	1,188	7.24
東京計器取引先持株会	732	4.46
株式会社三井住友銀行	653	3.98
SMBC日興証券株式会社	472	2.88
東京計器従業員持株会	462	2.81
日本生命保険相互会社	376	2.29
株式会社横浜銀行	373	2.27
株式会社KODENホールディングス	360	2.19
山内正義	340	2.07

- 注) 1. 信託銀行の所有株式には、信託業務に係る株式が含まれております。
 2. 当社は2022年9月30日現在、自己株式を661,767株保有しておりますが、上位10名の株主からは除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



注) 本報告中の記載数値は、表示してある数値未満の端数を四捨五入しております。

● 株主MEMO

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎決算期の翌日から3ヶ月以内
- 期末配当金 受領株主確定日 3月31日
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：7721)

● 公告方法

公告は電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。(www.tokyokeiki.jp)
 但しやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

● 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先
 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TOKYO KEIKI

東京計器株式会社

＜お問い合わせ先＞

〒144-8551 東京都大田区南蒲田2-16-46

TEL 03-3732-2111(代表) FAX 03-3736-0261 www.tokyokeiki.jp

(ご注意)
 株券電子化後、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）経由で行っていただくこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

未受領の配当金につきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。